



1



2



3



4



5

トを張ったのですが、例年と比べて発芽率が悪かったように感じました。土寄せ作業を2回やると、根が伸びて生育がよくなり、倒伏の防止にもなります。しかし、今年は1回やれたかなという感触です。1回も十分にできなかったところもあったほどでした。2020年は梅雨明けが発表されないほど雨が続いたため、防除作業にもかなり苦労しました。病気にか

かって黄色く変色したために、その後の栽培を断念した圃場も発生したほどです。特に、後半の品種では収量が振るわなかったと感じています。——今年度は、管内で播種期にハトによる被害も確認されました。当法人の圃場でもハト害があり、25アールほど播種をやり直して、ハト除けのテープやテグスなどで対策を行

——今後の対策や次年度の計画についてお伺いします。今回病気が発生した品種については、予防として防除を徹底すること、対策していきたいと思っています。以前から枝豆は排水が大事だと感じていましたが、改めて強く実感したため、排水にも注意していきたいですね。来年度の作付け計画を立てるうえで圃場の割り当てを見直し、西側にあった枝豆の圃場の一部を、地域の南部に集約しました。場所によって土質が違

- 1 地図で次年度の作付け圃場を確認する蔭山さん
- 2 県道9号線(通称・空港道路)沿いに見える看板。この看板とハウスの間の圃場にも枝豆を作付けする
- 3 6月19日(金)「味風香」の圃場にて
- 4 5 7月21日(火)収穫作業の繁忙期

いました。種が余っていたために、素早く対応できたことは幸いでした。

うため、向いている品目も違いますし、病気が圃場に残っている可能性もあります。圃場ひとつひとつの状態を今一度見直し、効果的に枝豆を栽培できるようにしていきたいと思っています。